

企業行動憲章第②条

商取引においては、公正、透明、自由な競争を行い、また政治、行政とは健全な関係を保ちます。

海外グリーン調達強化



「お取引先を守るためにも、日々の実証を積み重ねることが重要です」

シチズン時計
環境企画室 室長
井上 健

互いに発展できる仕組みの構築

時計事業では国内・海外あわせて約400社のお取引先（グリーンパートナー）とお付き合いがあり、すべてのお取引先にシチズンのグリーン調達にご協力いただいています。

近年はとくに海外での製造比率が急速に伸び、欧州、米国、中国など各国の環境規制を遵守することはもとより、さらに原材料、部材、部品に含まれる鉛などの有害化学物質の徹底した管理が必要になっています。そのため、双方にとってベストな関係が保てるような検証の仕組みづくりが急務となっています。

日々進化・変化する中国

中国のグリーンパートナーにおいては、急成長を遂げる中国の激変の渦中にあり、不安定で流動的な状況にありま

す。その変化に対応し、日々の検査を継続することが、双方のためにも必要なことです。できるだけ現地へ足を運び、フェイスtoフェイスで会話を重ねることで問題点の発見や経営者の考え方を積極的に知る努力を行っています。

グリーン調達の最大の目的は「安全で安心な」製品をお客様にお届けすることです。とくに時計外装部品は、海外のお取引先が多く、時計事業におけるグリーン調達の成否は海外のグリーンパートナーにかかっているといえるのです。



サンプルなどを利用した実証検証（蛍光X線分析）

CSR調達

シチズン電子グループでは「シチズングループ企業行動憲章」および「国連グローバル・コンパクト」の精神に基づき、コンプライアンスの徹底をはじめ、環境・人権への配慮など、CSRを積極的に推進するお取引先と強固なパートナーシップを構築し、共存・共栄していくことを目的に、調達活動を行います。

お取引先には人権尊重、労働、安全衛生、公正取引などの要請事項をまとめた「CSR調達ガイドライン」の遵守を依頼しています。

CSR調達ガイドライン



企業行動憲章第③条

広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するとともに、適切な情報管理を行います。

情報発信 & IRコミュニケーション

積極的かつ公正な情報発信のために

あらゆるステークホルダーに、私たちが信頼に値する企業として社会で共存するパートナーに選ばれるためには、まずはシチズンという会社を理解してもらうことが重要です。

広報とIRは、対外的に情報を発信する部門として、同じ経営企画部内にあり、密接に情報を共有しながら積極的にコミュニケーションの機会を増やし、公正な情報発信ができる体制をとっています。

このような体制のもと、シチズングループの社会的認知を高めるとともに企業理念や経営姿勢に対する理解を得ながら、ステークホルダーとの信頼関係を構築し、企業価値、ブランド価値の向上および持続的な成長・発展に貢献していくことが、広報、IRに共通した重要な役割であり、企業としての責任を果たすことにもなると考えています。

適切なコミュニケーションを実現させるために

広報課は、正確な企業情報を適切なタイミングで戦略的に発信していくために、グループの各事業会社とも連携し、定期的な新製品や経営・人事などの情報を確認・共有しながらシチズンホールディングスの広報にて集約、情報管理、発信するという仕組みを構築しています。そして、広く社会から信頼を得るべく、自社中心の発想で情報発信するのではなく、客観性に留意しつつ、人々の生活やニーズを考えた生活者視点での情報発信をするよう常に心がけています。

IR課は、決算説明会を年4回開催しているほか、積極的に取材対応を行うなど、株主・投資家の皆様との対話の機会を増やし、最新の状況や経営ビジョンを適切に伝えることで企業活動の透明性を高め、企業価値を向上させることをめざしています。また、外部の見方や意見を内部に伝え、企業活動の改善につなげるといった双方向のコミュニケーションも重要な役割です。より多くの方にシチズングループをご理解いただき、長期的な信頼関係を築けるように取り組んでいます。

「ステークホルダーの理解と

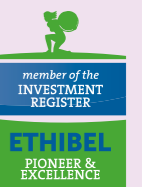
信頼をいただき、

より良い関係を構築することは、

私たちの責任です」

■外部機関からの評価

シチズンホールディングスは、2004年から8年間ベルギーのSRI(社会的責任投資)評価機関であるエティベル社の「エティベル・サステナビリティ・インデックス」に選ばれています。



シチズンホールディングス
経営企画部長 古川敏之
と広報課・IR課メンバー